

特定秘密保護法の成立強行を受け協会は14日、抗議声明を発表した。

特定秘密保護法強行採決に 抗議し、廃止を求める

2013年12月14日 大阪府歯科保険医協会第9回理事会

政府・与党は12月6日、参議院本会議で特定秘密保護法案を強行採決、成立させた。私たち

は、同法内容が国民の基本的人権を侵し、平和を踏み躪るものとして審議過程でも指摘し、廃案を求めてきた。採決に至る道筋においても議会制民主主義のルールを逸脱しており、とうてい容認できない。

そもそも現国会は、衆参両院の一票の格差について、最高裁や高裁で「違憲状態」との判決が下されており、特定秘密保護法のような国民の権利を著しく制限する重要法案を採決する資格を持たない。違憲状態の国会による違憲立法は断じて許され

ない。特定秘密保護法に対するパブリックコメントでは77%が反対意見を表明、世論調査でも国民の過半数が反対、8割が慎重審議を求めている。同法案の強行採決に対する国民の批判の声は、同法成立後の内閣支持率の急落を見ても明確である。

福島の地方公聴会では、自民党推薦の参考人を含めて7人の公述人全員が同法案に反対・慎重を表明したにもかかわらず、翌日には衆議院本会議で強行採決、参議院でも同様に地方公聴会の翌日に強行採決された。衆参合わせた審議時間はわずか67時間であり、国民多数の意向を

無視した異常なものであった。何が秘密かも明らかにされないもど、医療人としては、患者との対話、問診にも支障をきたすことを恐れる。適性評価で医療機関に患者の情報の提供が義務付けられ、患者との信頼が成り立たなくなる。特定秘密保護法は、国家安全保障会議とともにアメリカとの集団的自衛権を発動するための法整備であり、日本を戦争に導くものである。大阪府歯科保険医協会は、命と健康を守る医療人として、戦争へ道を開く特定秘密保護法の強行採決に抗議し、即時廃止を求める。

春夏秋冬

安倍政権と民意

2014年は、この国の土台を成す社会保障や平和、民主主義が重大な岐路に立つ激動の1年になる。歴史の逆流に抗し、憲法の国民主権・基本的人権・平和主義を守り生かす政治を切り開いていかなければならない。自民党が政権復帰し

たこの1年間、私たちの目に映ったのは民意を無視して重大課題を強行する権力者の姿だ。消費税増税と社会保障大改革を計画し、公約を破ってTPP交渉に参加。

巨大与党の自公支配の下で首相は「この国のかたち」を根底から変えようとしている。その一つが、社会保障の在り方だ。昨年末に強行採決した「プロ

自己責任の制度に変質させようとしている。もう一つが、戦後日本

の平和主義だ。首相が集団的自衛権や海外での武力行使を容認する先には、憲法9条を

り踏み出している。しかし、今、少なくとも人々が「安倍政権の下では暮らしも平和も守れない」と危機感を抱き、自らの意志で立ち上がり始めている。

この世論を確かな力に、協会は幅広い市民・団体と連携し、国民の生活や健康、平和を最優先に考える政治へ抜本転換を迫っていく。

協会は昨年、歯科医療現場の問題を浮き彫りにするために学校歯科治療調査と技工所アンケートに取り組んだ。受診できない児童や歯科技士の厳しい実態を明らかにした。歯科界にとどまらず、様々な団体と問題解決に向けたつながりができている。臨時

世論の高まり 確かな力に

グラム法」は、医療・介護・年金などの負担増・給付抑制策にとどまらず、社会保障の基本に「自立・自助を位置付けた。生存権に基づいて、自国の責任を放棄し、

改定し、国防軍を創設する目的がある。その一歩として、特定秘密保護法があった。国家安全保障会議(日本版NSC)法と合わせ、

その象徴が秘密保護法に対する批判の声だ。首相が強権的に出れば出るほど、民意との

「ねじれが深刻化し、国民運動が急速な盛り上がりを見せている。

歴史に逆流する今の政治では、国民の切実な願いに応えられない。協会は、医療・社会保障の改善を許さず、憲法が保障する社会を

実現するために、この間、生まれている国民との連帯をさらに広げ、全力で行動する。

2月度生涯研修抄録

知っておこう！考えよう！発達障害 安心できる歯科医療をめざして

村上旬平 (大阪大学歯学部附属病院障害者歯科治療部)

るADHD(注意欠如・多動症)、そして文字を読むことや計算が苦手なLD(特異的学習症、学習障害)がある。普通学級に通う小中学生の6・5%に発達障害があるとされ、最近では大人になって診断を受けるケースも多い。したがって歯科医療機関を受診する患者には、診断を受けているかどうかに関わらず、発達障害のある人が一定の割合で存在する。発達障害のある人は、触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚や平衡感などの感覚が過敏であったり鈍かったりする感覚凸凹の特徴があり、こだわりやコミュニケーションの難

発達障害には、社会性、コミュニケーション、想像力に困難をかかえるASD(自閉スペクトラム症、自閉症スペクトラム障害)、不注意・多動・衝動性で定義され

日時 2月16日(日)午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
会費 会員3千円、未入会者1万円

しから日常生活や社会生活で不安や困り感を強く感じている。歯科診療や指導がうまくいかない場合もあるが、その際外見で障害が分かりにくいいため、わがままな人などと誤解され、傷つき自信をなくすようなケースもあるという。発達障害のある人の感覚世界を理解し、不安感や困り感を想像して配慮することは、患者と歯科医療者がお互いにストレスや不安を解消するのに役立つ。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

1月度生涯研修
歯科医院における偶発症の予防と救済処置

日時 1月19日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 横山武志氏(九州大学歯学部麻酔学教室教授)
会費 会員3千円、未入会者1万円

「弥生会計」パソコン記帳講座―決算編
日時 1月25日(土) 午後3時〜6時
会場 京橋・弥生カレッジCMC
講師 柄溝宗生氏(協会税理士団)
会費 5千円 定員 20人
対象 会員・家族・会員院所スタッフ

個別指導対策講習会
レセコンのカルテ作成機能は個別指導の現場で通用するか
日時 1月25日(土) 午後6時〜8時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 社保研究部講師団
会費 会員千円 対象 会員本人に限る

※「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト2013年8月版」をご持参ください
大阪市北部地区、大阪市東部地区、南河内地区
歯周治療3回シリーズ講座(3回目)
日時 1月25日(土) 午後6時から8時30分
会場 保険医会館 定員 50人
講師 高津兆雄氏(旭区開業、前大阪歯科大学歯周病学講座准教授)

会費 会員無料 未入会者各1万円
内容 指導管理とメンテナンスなど
組織部主催
女性ドクターのためのストレッチ教室
日時 1月26日(日) 午前10時〜正午
講師 橋岡雄太さん(メディアカルトレーナー・ストレッチ専門店 ストレッチアップ)

会場 M&Dホール
会費 会員無料、未入会者1万円
服装 運動をできる服装でお集まりください(男性・スタッフも参加可)
※終了後にランチ女子会を開きます

歯科臨床・学術部
心通わす接遇 ファーストクラスのクレーム対応に学ぶ
日時 2月2日(日) 午前10時〜正午
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 西岡ひとみ氏(元JALキャビンアテンダント)

会費 会員スタッフ3千円
未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。